学校教育担当
キャラクター
甲斐善之助

西部教育局からのお役立ち情報
今月のトピック紹介版

５月号

特別の教科　道徳　（小学校）
発達の段階に応じた道徳科の指導

令和7年度西部地区特別支援教育マップ

LD等専門員を活用しましょう

西部地区で活躍する
エキスパート教員を御紹介します！

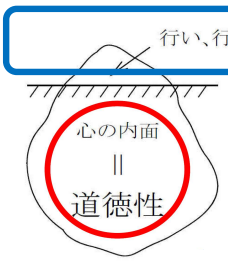
すべての子供に「できた」「わかった」を！

特別の教科　道徳　（小学校）
発達の段階に応じた道徳科の指導

西部教育局
お役立ち情報
令和7年5月号

道徳科でいう発達の段階とは、右の図でいうと、氷山の下の部分に当たります。同じ内容項目でも、発達の段階を意識することで、発問やねらいが明確になります。

参照：Nits独立行政法人教職員支援機構
「発達の段階に応じた道徳科の指導
畿央大学　島　恒生教授」より



規則やルールを守る。

なぜ、規則を守ることが大切か。
規則とは何か。

例
- 低学年　みんながいい気持ち
- 中学年　みんな同じ願いや思いがある
- 高学年　権利があり、義務がある

『雨のバス停留所で』※を中学年で授業をすることを想定して、考えてみましょう。

※文部科学省『わたしたちの道徳 小学校3・4年』参照

C 主として集団や社会との関わりに関すること
12 規則の尊重
〔第1学年及び第2学年〕
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
〔第3学年及び第4学年〕
約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。
〔第5学年及び第6学年〕
法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 P.50、51

中心発問例

どの発問にしようかな・・・

①よし子は、何が間違っていたのでしょう。
②黙ったままのお母さんは、何を考えていたでしょう。
③黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんな気持ちだったでしょう。
④黙ったままのお母さんを見て、よし子は、どんなことを考えたでしょう。

⑤自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことを考えたのでしょう。
⑥早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客さんとで、何が違ったのでしょう。

①は、順番抜かしをしたらだめだという分かり切ったことだな。
②は、主人公ではないお母さんに関する中心発問になっているな。

③と④は、「気持ち」か「考え」かの違いだな。
気持ちよりも考えの方を問いたいな。
でも、「お母さん」という言葉が入っているので、子どもたちがそちらに引っ張られ混乱しそうだな。

そうなると、⑤か⑥かな・・・。

⑤か⑥となったとき、発達の段階から、次のように考えることもできます。

⑤自分がしたことを考え始めたよし子は、どんなことを考えたのでしょう。

↓

他のお客さんに嫌な思いをさせた。次からは並ぼう。

↓

・ルールやきまりを守らないと、みんなに嫌な思いをさせてしまう。
・ルールを守れば、みんながいい気持ち。だから、守ることが大事。

低学年

教材の状況

登場人物が感じたことや考えたこと

道徳的価値に対する感じ方や考え方、生き方

⑥早く乗りたい、座りたい。同じ思いのよし子とお客さんとで、何が違ったのでしょう。

↓

早く乗りたいし、座りたいから、走ろう。
みんな並んでいるから、並ぼう。

↓

・みんな、同じ願いや思いがある。それらをきちんとかなえていくために、ルールやきまりがある。

中学年

この題材での「きまりの意義」とは…

ねらい（例）
よし子とお客さんの思いを考えることを通して、みんなに、安心で楽しく生活したいという思いがあり、それを実現するためにきまりがあることを理解し、それらを守ろうとする態度を養う。

令和7年度　第1回鳥取県道徳教育研究協議会

6月10日（火）米子市立大篠津小学校

第6学年　教材名「ロレンゾの友達」
（B 友情、信頼）

5月中旬頃
通知予定

- 授業者　米谷　綾　教諭
- 指導助言及び講演　堀田　竜次　教育課程調査官

『チーム西部』で、
子供たちを支えます！

令和７年度西部地区特別支援教育マップ

西部教育局
キャラクター
Say（セイ）ちゃん

通級指導教室

明道小学校：まなびの教室	尚徳小学校：まなびの教室	湊山中学校：まなびの教室	第三中学校：まなびの教室
啓成小学校：ことばの教室	彦名小学校：まなびの教室	弓ヶ浜中学校：まなびの教室	西伯小学校：まなびの教室
車尾小学校：まなびの教室	弓ヶ浜小学校：まなびの教室	加茂中学校：まなびの教室	岸本小学校：まなびの教室
福米東小学校：まなびの教室	伯仙小学校：まなびの教室	境小学校：まなびの教室	名和小学校：通級指導教室
		余子小学校：ことばの教室	名和中学校：通級指導教室

通級に関する問い合わせ…該当の市町村教育委員会

県立特別支援学校は、地域のニーズに応えるため、教育相談や訪問による研修等を行っています。

県立皆生養護学校
（肢体不自由・病弱）
０８５９－２２－６５７１

特別支援教育コーディネーター
秋山　美紀

県立米子養護学校
（知的障がい）
０８５９－３９－３３００（支援部）

発達障がい教育拠点
特別支援教育コーディネーター
松本　理恵

通級指導担当（まなびの教室）
徳安　隆・猪口　真央

県立鳥取聾学校
ひまわり分校（聴覚障がい）
０８５９－２３－２８１０

支援部主任
迫田　加奈

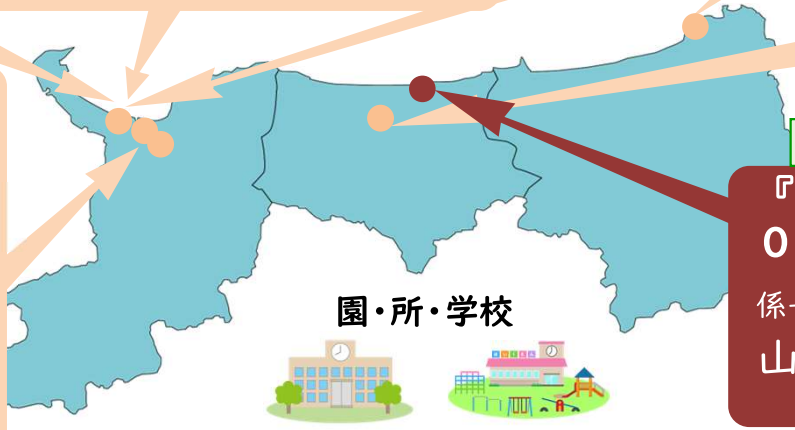
通級指導担当
（きこえとことばの教室・ことばの教室）
河上さゆり

県立鳥取盲学校（視覚障がい）
０８５７－２３－５４４１（支援部）
０８５９－３４－５９１０（きらら　皆生養護学校支援室内）

視覚障がい教育拠点「きらら」
特別支援教育コーディネーター　竹間　恵

県立琴の浦高等特別支援学校（知的障がい）
０８５８－５５－６４７７

特別支援教育コーディネーター
安藤　恵



発達障がいのある方やその家族関係者への支援を行います。

『エール』鳥取県発達障がい者支援センター
０８５８－２２－７２０８（県立皆成学園内）

係長
山本　千恵（かずえ）

発達障がい者地域支援マネジャー
佐伯志保子

ＬＤ等専門員

米子市（※を除く）、日吉津村を担当
金田　美果

米子市（※を除く）、日吉津村を担当
田澤　理恵

境港市、米子市の一部（※）を担当
松下　環

西伯郡（日吉津村を除く）を担当
山本　泉弥

日野郡、高等学校を担当
川上久美子

※彦名小、崎津小、大篠津小、和田小、弓ヶ浜小、美保中、弓ヶ浜中

LD等専門員は、発達障がい等により特別な教育的支援を必要とする児童生徒等への指導・支援に係る相談助言、保護者等への相談助言を行います。

西部教育局
キャラクター
Hear（ヒア）ちゃん

特別支援教育専門員

西部地区の特別支援学級を担当
松原　早苗

特別支援教育専門員は、令和7年度から西部教育局に配置されました。小・中・義務教育学校における特別支援学級での指導・支援に係る相談助言を行います。